

千葉市議会議員（花見川区）

だんぎ 和彦

「立憲民主党キャラバン隊」小西ひろゆき応援演説

JR 津田沼駅南口にて



夏の参議院議員選挙に向けて



熱く思いを語る小西候補

令和4年5月21日（土）13：30～、千葉市文化センター3階アートホールに於いて、7月に予定されている参議院議員選挙に向けて「小西ひろゆきとともに政治を変える総決起集会」が開催され参加いたしました。

開会后、主催者代表といたしまして、立憲民主党千葉県総支部連合会代表・長浜博行参議院議員、黒河悟後援会会長よりご挨拶があり、続いて連合千葉・永富博之会長他、ご来賓の皆様よりご挨拶いただきました。また、熊谷俊人千葉県知事よりいただいた祝電メッセージ紹介に続き、立憲民主党千葉県連各支部長からの挨拶があり、引き続き、立憲民主党本部を代表して元内閣総理大臣で県連最高顧問の野田佳彦衆議院議員より挨拶がありました。ご挨拶いただいた皆様からは、小西候補の人柄・信念・政治姿勢・国への思いなど、様々なエピソードを交えご紹介いただきました。

この会のメインである、小西ひろゆき候補予定者本人の挨拶では、選挙戦にかける決意・思い、そしてこれまでの活動や今後の政策・活動等について熱く語られました。私も、改めて全力で小西候補を応援していくことを肝に銘じ、気持ちを新たにいたしました。

最後に、来賓者、参加した総支部長・自治体議員が登壇し、会場を埋め尽くした支援者の皆様とともに、県連選挙対策委員会事務局長・野田剛彦千葉県議会議員の掛け声で「ガンバロー」を一発で決め、会はお開きとなりました。

第26回参議院議員選挙は、6月22日（水）が公示日となり、7月10日（日）が投開票となる予定ですが、小西洋之候補本人はもちろんのこと、小西候補を支える私どももしっかりと活動して参る所存です。

花見川団地を拠点とした地域活性化に関する協定締結

令和4年5月26日（木）10：00～花見川団地内において、千葉市、良品計画、MUJI HOUSE、UR 都市機構の4者による、花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化に関する協定が締結されました。

この協定は、これまでの MUJI×UR の住戸のリノベーションを、住戸だけでなく、団地内の屋外広場や商店街区などに広げ、さらには団地周辺の花見川、花島公園などの地域資源も活用し、4者が連携協力して、団地を拠点とした地域生活圏の活性化に取り組んでいくものです。

協定の協力事項には、「多様な世代が安心して住み続けられる環境整備に関すること」「花見川団地商店街の活性化に関すること」「地域で活躍する人材の発掘や活動支援に関すること」「地域資源の活用に関すること」などのほかにも、大学連携・情報発信等が記載されております。

これまでも、議会や執行部との意見交換等において、花見川団地と周辺地域の活性化について提案して参りましたが、今後も地域の活性化に向けて力を尽くして参る所存です。



リノベされた部屋

自動運転バス（GACHA）の実証実験・住民体験乗車



自動運転バス（GACHA）

令和4年5月下旬から6月上旬にかけて、花見川団地における自動運転バス（GACHA）の体験乗車が行われております。

前述の4者連携協定の取り組みのひとつとして、花見川団地にお住まいの方を対象に、将来の団地内移動手段の支援に係る実現性や知見の習得、住民同士の交流などを通じたコミュニティの活性化の可能性などを検証するための実証実験となっております。

私も試乗させていただきましたが、安全にも気が配られており、乗り心地も良く快適でした。高齢化が進む地域の移動手段・利便性向上のため導入が望まれるところであり、市内他地域にも波及していくことを期待いたします。

「ヤングケアラー」に関する研修会参加

ケアを必要とする家族のために、家事や家族の世話、介護などを担っている「ヤングケアラー」につきましては、厚労省や自治体等の調査を経て実態が明らかになってきておりますが、本年5月8日（日）生涯学習センターにおいて開催された「ヤングケアラーについて知ろう・必要な支援を考えよう」に参加し、ヤングケアラーの経験談・現状・支援等についてお聞きいたしました。

本市の新年度予算にも「ヤングケアラー支援体制強化」が盛り込まれておりますが、ヤングケアラーの早期発見、安心して学べる環境づくり等の、支援体制の構築に力を尽くして参る所存です。

だんぎ和彦事務所

TEL：043-258-0958

FAX：043-286-9312

携帯：090-2325-3683

E-mail：dangi.s@coda.ocn.ne.jp